

検 査

平成25年産米の初検査

25年産水稻の生育は、融雪遅れや春先の低温・寡照により、は種期から育苗期にかけて、遅延していましたが、移植後は高温多照に経過したことから、生育は急速に早まり、全道的に平年より早く成熟期を迎えました。

穂数・籾数は平年並みかやや少ないものの、稔実歩合が高いことから、平年をやや上回る収量が見込まれています。

本年産米の収穫作業は、8月下旬より、上川・空知の一部地区で開始され、本年度の初検査は8月28日に芦別市で行われました。

整粒歩合・外観品質とも良好であり、全量が1等に格付けされました。

各地区における米穀初検査は、下記の日程で実施され、順次、全道各地において豆類などの農産物検査を実施してまいります。

【各地区の初検査日】

- 9月4日 上川地区
- 9月6日 後志地区
- 9月10日 留萌地区
- 9月11日 日胆地区
- 9月13日 道南地区
- 9月18日 石狩地区

【初検査の概要】

- 1. 刈取日 8月24日(土)
- 2. 検査日 8月28日(水)
- 3. 検査場所 JA たきかわ 芦別検査場
- 4. 銘柄 「ななつぼし」
- 5. 等級 1等
- 6. 数量 33袋/30kg
- 7. 水分 13.8%



芦別検査場 検査風景